



# 決算補足資料

2026年2月期 第3四半期

リックソフト株式会社  
(東証グロース : 4429)



# 目次

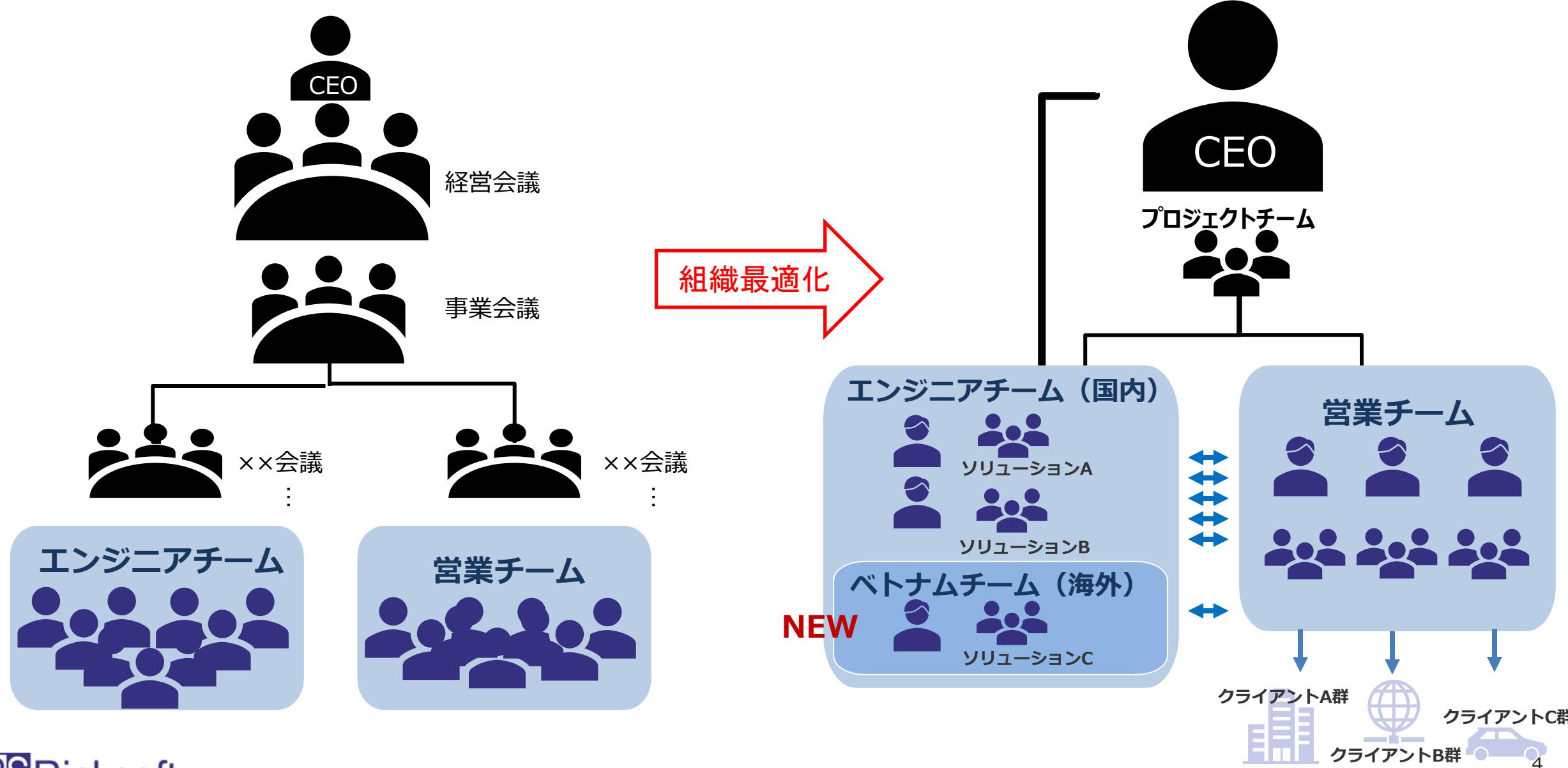
01. 当社の目指す姿
02. 2026年2月期第3四半期 業績



## 01. 当社の目指す姿



# 構造改革の進捗状況について





# ベトナム企業BiPlus Softwareとの 資本業務提携

**目的：アトラシアン事業をはじめとしたグローバル展開への対応**

今後は、顧客の海外需要を取り込み、グローバル対応力の強化を通じた提供価値の向上を目指していきます

あわせて、成長市場であるベトナムにおいて優秀なIT人材を確保し、事業体制の強化による売上成長を図っていきます

# 投資戦略（参考）

## ビジネスモデル変革と人的投資 2030年までに累計60億円規模の戦略投資を実行する



10～14億円



40～50億円

### ビジネスモデル変革

- ・コンサル事業の中核を成すフレームワーク開発
- ・ビジネスモデルのブランディング
- ・社長主導による構造改革



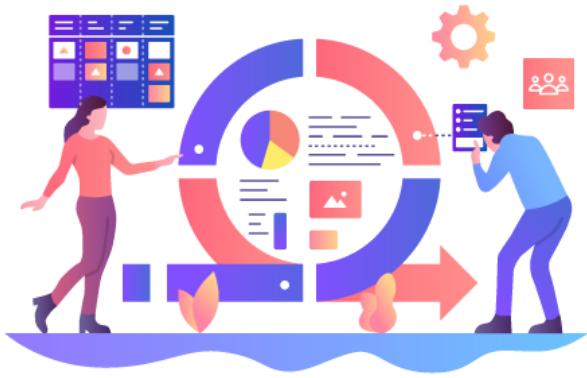
効率化による収益改善  
高収益領域への集中

### 人的投資(M&A含む)

- ・国内：あらゆる業界の専門チームを構築
- ・海外：グローバル市場へ進出



体制強化による売上拡大



# 02.2026年2月期 第3四半期業績



# 2026年2月期 第3四半期 ハイライト

## 業績

- ・ 売上高 80.7億円（前期比 22.3%増）、営業利益 2.9億円（前期比3.5%減）の增收減益となつたが、契約負債が41.2億円（当第2四半期から7.2億円増）まで増加しており将来の収益計上に向けた基盤が着実に積み上がっている
- ・ 対通期進捗率は、売上高79.4%、営業利益72.1%であり、想定通りの進捗である

## ポイント

- ・ テクノロジーソリューション売上は前期19.7%増の65.1億円と堅調に拡大
- ・ プロフェッショナルサービス売上が前期比63.6%と大幅増

## トピックス

- ・ 構造改革『Reignite2030』を最優先で推し進めている
- ・ アトラシアン事業をはじめとした将来のグローバル展開を見据え、BiPlus Vietnam Software Solutions Joint Stock Company (本社：ベトナム・ハノイ) と資本業務提携

## 2026年2月期 第3四半期 実績

- ▶ 売上は、対前期比 22.3%増と引き続き堅調に推移、契約負債も4,127百万円まで増加しており将来的な売り上げも順調に積みあがっている
- ▶ ライセンス原価の高騰による粗利の低下をプロフェッショナルサービスの売上貢献が補った

(単位：百万円)

	2025/2期 第3四半期	2026/2期 第3四半期	増減額	前期比
売上高	6,598	8,071	1,472	22.3%
売上総利益	1,754	1,782	28	1.6%
売上総利益率	26.6%	22.1%	-	△4.5ポイント
販管費	1,447	1,486	38	2.7%
販管費率	21.9%	18.4%	-	△3.5ポイント
営業利益	307	296	△10	△3.5%
営業利益率	4.7 %	3.7%	-	△1.0ポイント
経常利益	316	273	△43	△13.6%
当期純利益	244	211	△32	-

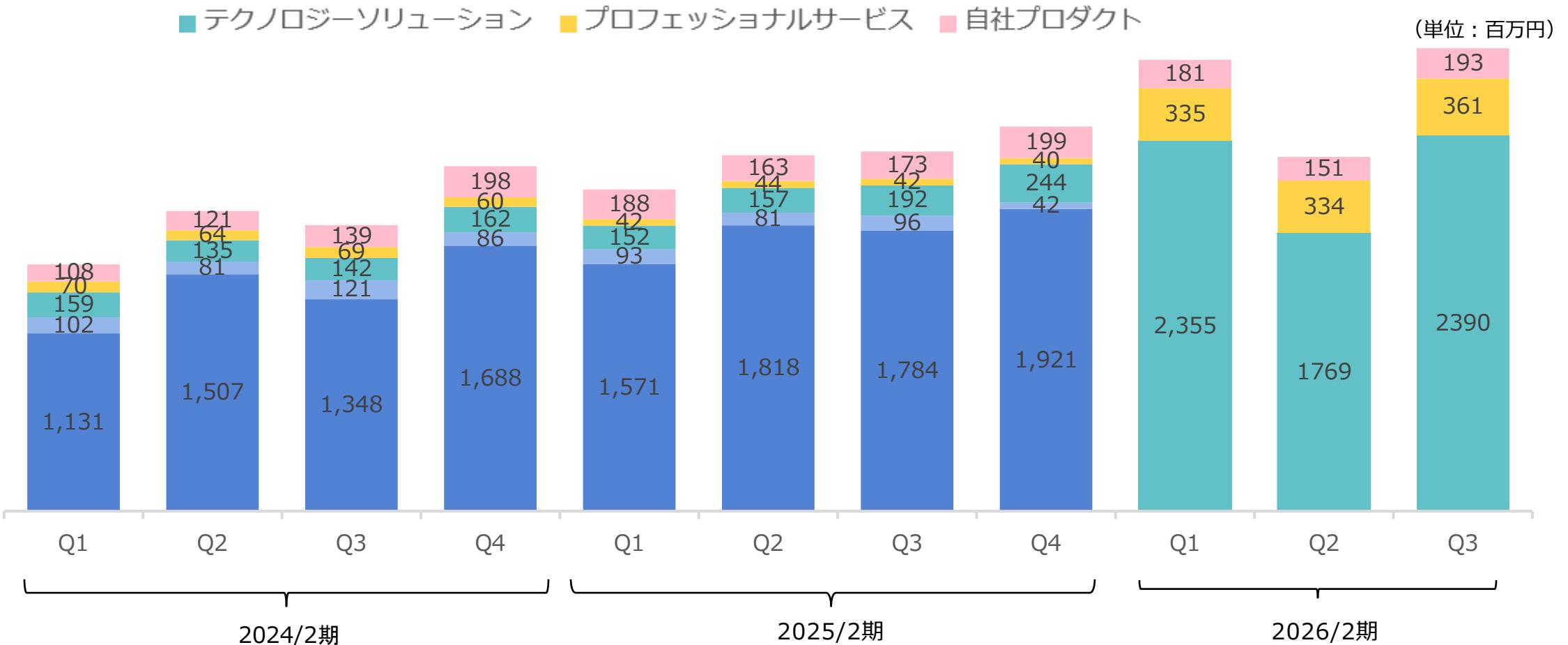
## 2026年2月期第3四半期 サービス別 売上高

- ▶ テクノロジーソリューション売上が前期比19.7%増の6,515百万円で着地
- ▶ 当社が推進する『Reignite2030』の戦略が功を奏し、プロフェッショナルサービス売上が前期比63.6%増の1,030百万円で着地

(単位：百万円)

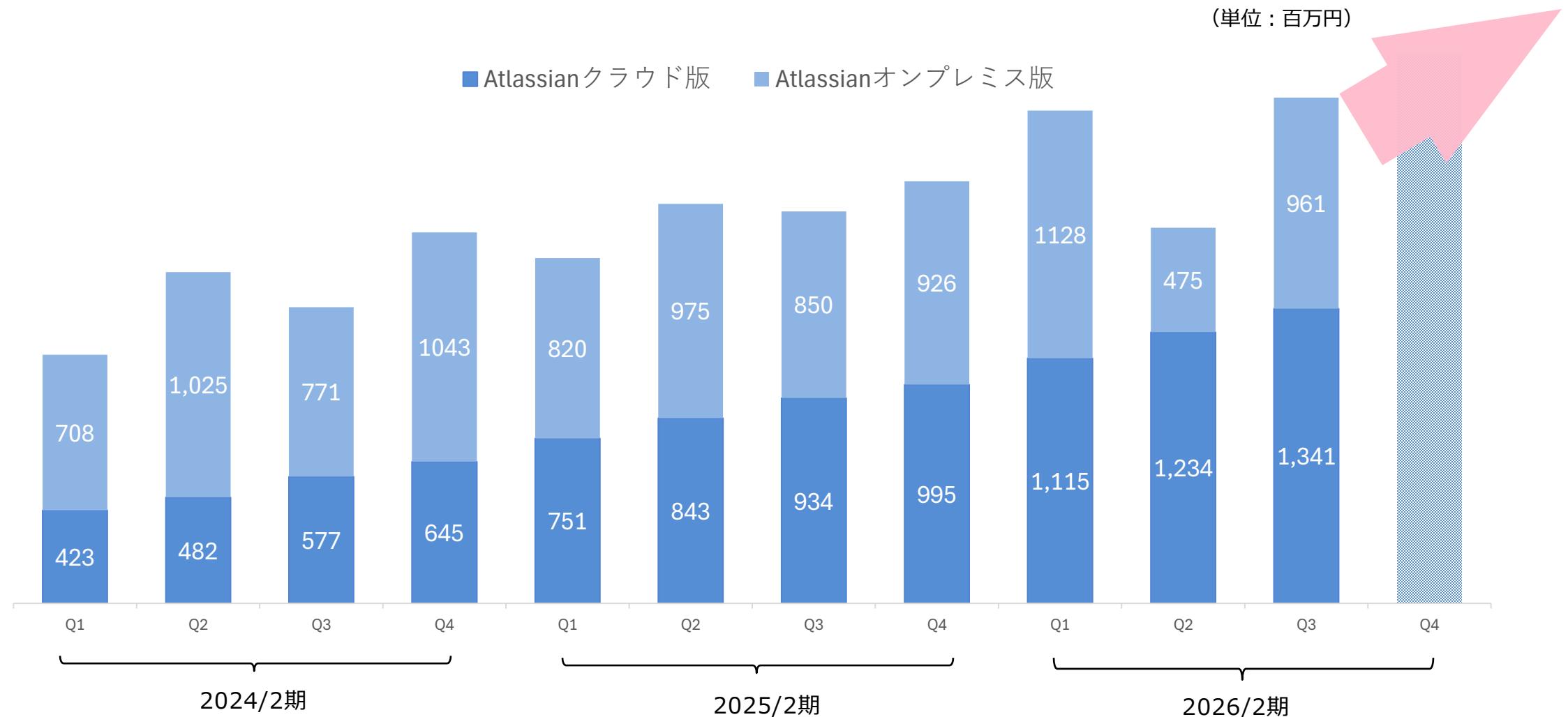
売上区分	2025/2期 第3四半期	構成比	2026/2期 第3四半期	構成比	前期比
テクノロジーソリューション	5,443	82.5%	6,515	80.7%	19.7%
プロフェッショナルサービス	629	9.5%	1,030	12.8%	63.6%
自社プロダクト	524	8.0%	525	6.5%	0.1%
売上高合計	6,598	100%	8,071	100%	22.3%

# 四半期別 サービス別 売上高



※2025/2期までは Atlassianライセンス Atlassian以外ライセンス SI マネージドサービス 自社ソフト開発 区分で計上しています

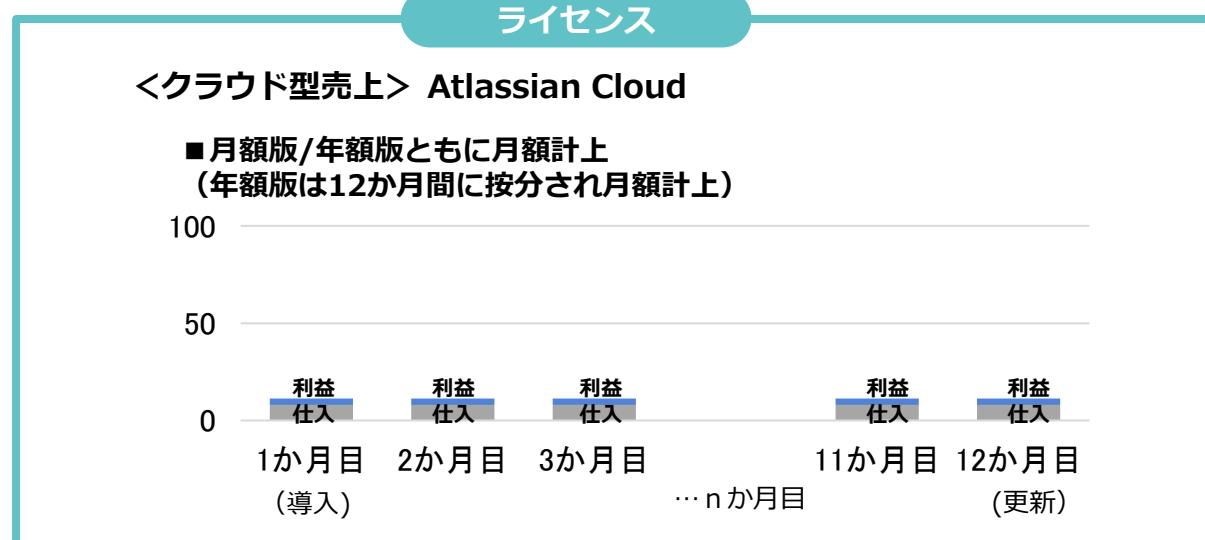
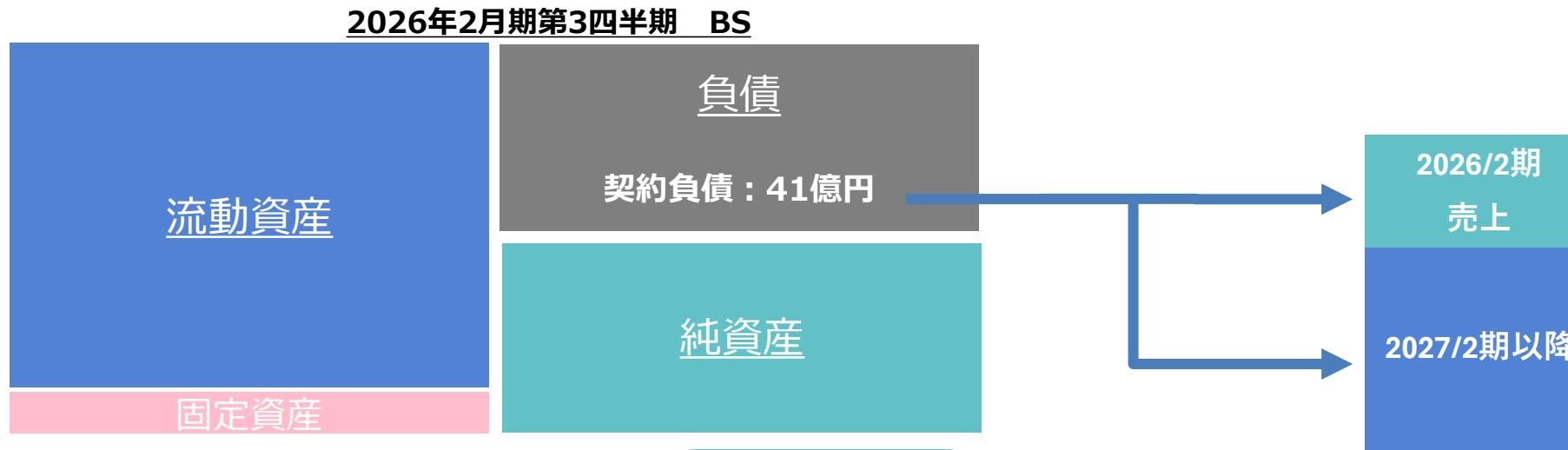
# Atlassianライセンス商品 種類別 売上高



注) 商品種類別の売上数値は社内で試算したものであり、監査法人の四半期レビューを受けていないため参考値となります

## 第2四半期以降の売上の積み上がりについて

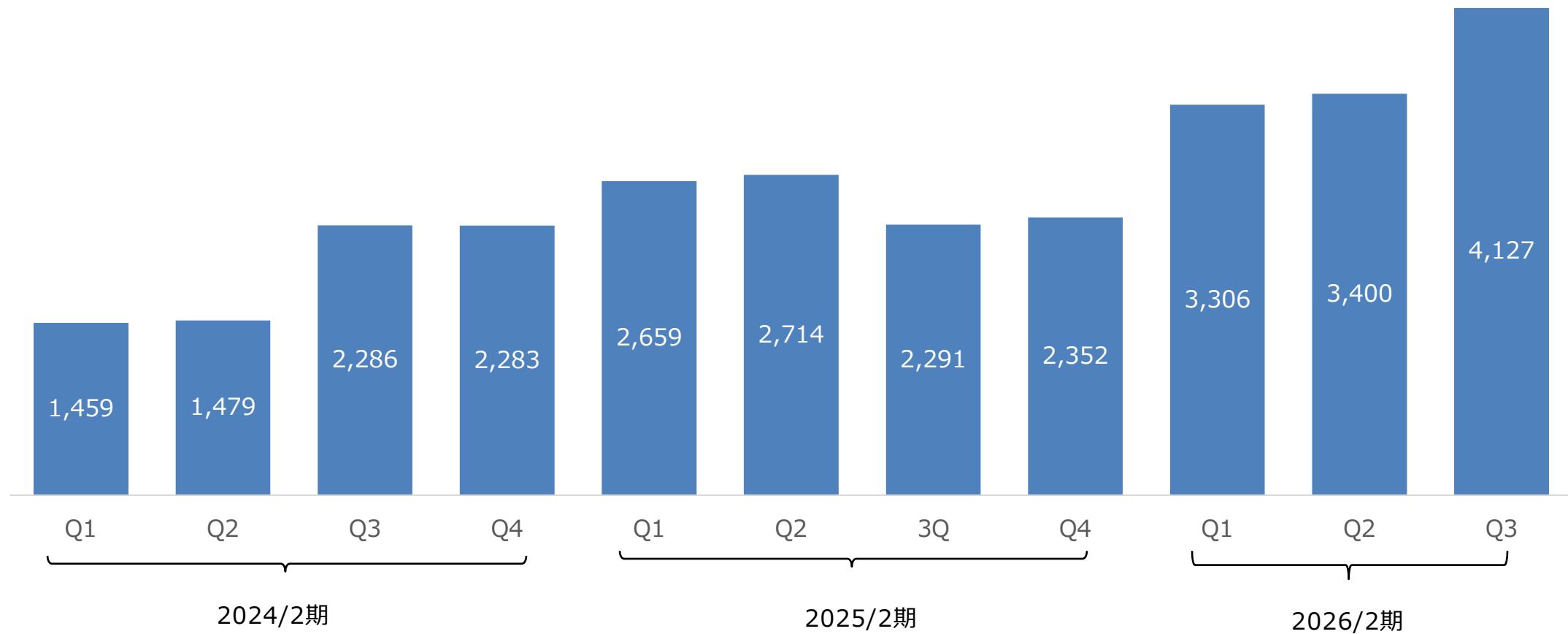
▶収益認識基準により将来に売上計上する契約負債が着実に積みあがっている



など

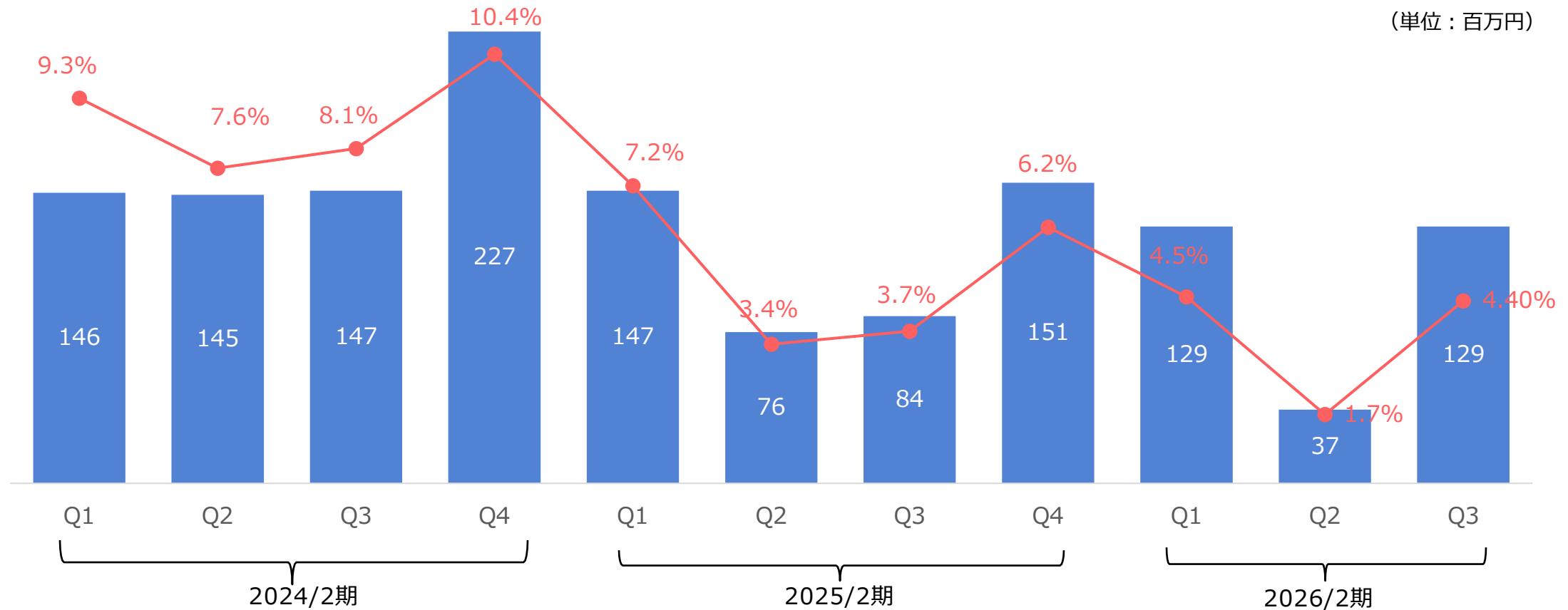
## 四半期別 契約負債推移

(単位：百万円)



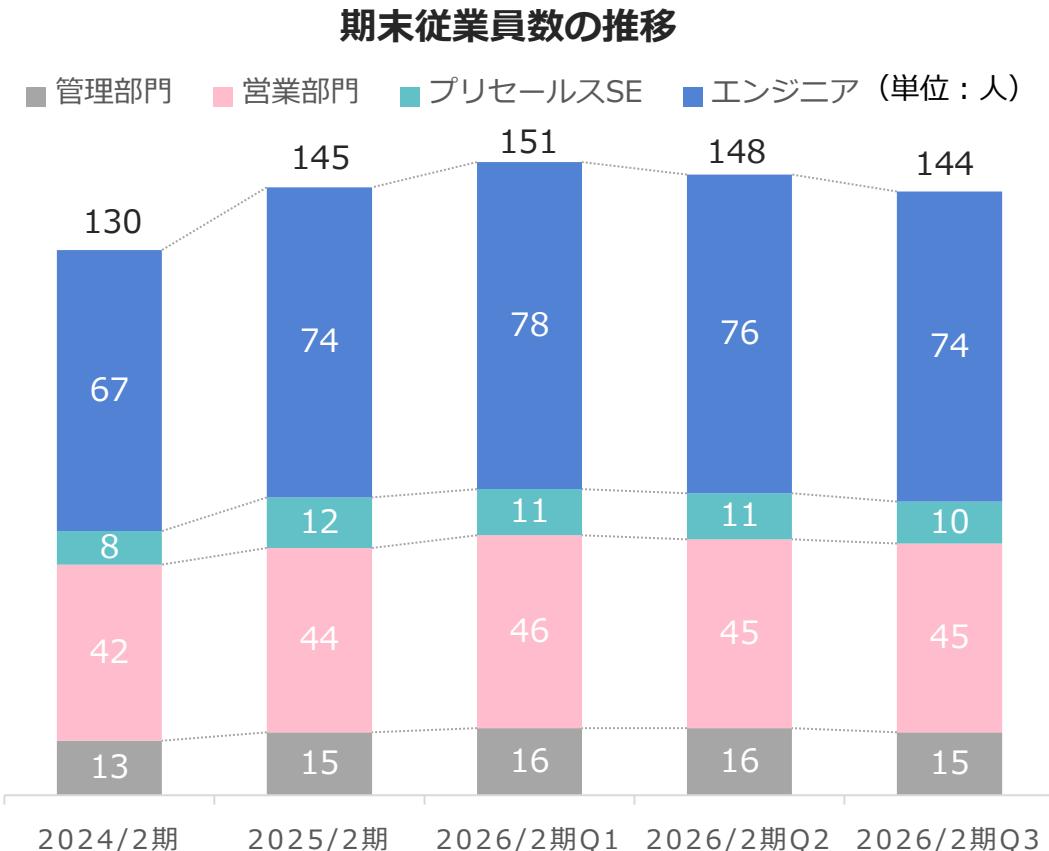
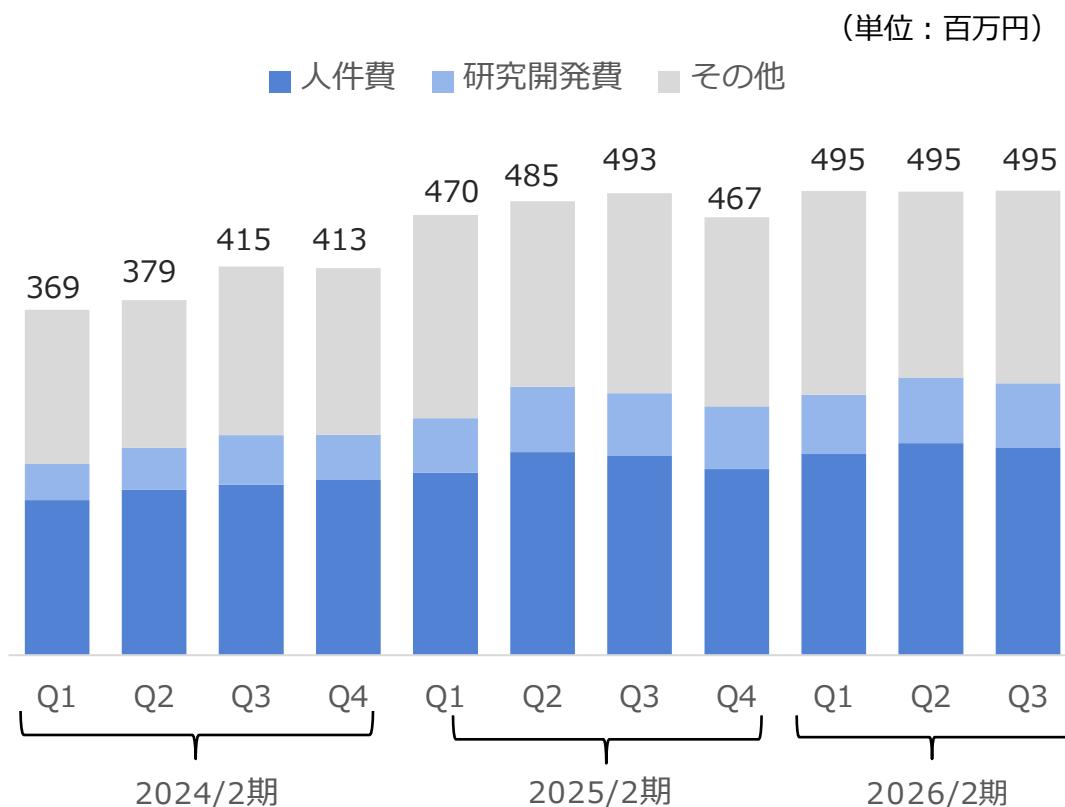
## 四半期別 営業利益額・営業利益率の推移

- ▶サービス構成バランスにより一時的に営業利益率が低下しているが、営業利益率の低下については重要な課題と認識しており、社長主導による組織構造改革を進めている
- ▶当社が推進する『Reignite2030』の戦略が功を奏し、プロフェッショナルサービス売上が利益率改善に貢献



# 四半期別 販管費分析

▶ 組織構造改革のため人材の適正配置をすすめている



## 2026年2月期 業績予想

- ▶ 対通期進捗率は、売上高79.4%、営業利益72.1%であり、想定通りに進捗している
- ▶ 引き続き、組織構造改革『Reignite2030』を推し進めることによって利益の改善を目指す

(単位：百万円)

	2025/2期 実績	2026/2期 予想	増減額	前期比	2026/2期 第3四半期	2026/2期 第3四半期進捗率
売上高	9,043	10,168	1,124	12.4%	8,071	79.4%
営業利益	458	411	△47	△10.3%	296	72.1%
営業利益率	5.1%	4.1%	—	△1.0ポイント	3.7%	—
経常利益	461	411	△50	△10.9%	273	66.5%
当期純利益	355	315	△39	△11.1%	211	67.1%
当期純利益率	4.0%	3.1%	—	△0.9ポイント	2.6%	—

# 将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。
- これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。